

平成25年 第1回(3月)志免町議会定例会一般質問通告書

通 告 順

番号	質問者	質問時間	件 名	要 旨	具 体 的 質 問 内 容	質問の相手
1	吉田大作	15分	1. 志免町の職員雇用問題について。	(1)職員雇用形態の現状。過去からの推移。	①職員雇用の制度について。 ②嘱託職員の任用について。 ③職員の育成について。	町 長
2	牛房良嗣	30分	1. 別府上井堰、下井堰の整備について。	(1) 両井堰の改築に向けての県との交渉の経過と改築の概要について。	①平成15年7月19日宇美川氾濫による町内の被害状況。 ②氾濫後の町内の橋、護岸、河床の掘削や井堰の改築、撤去など、どう進められたか。 ③上井堰の不具合は平成16年5月以降現在まで続いてきた。平成15年7月19日水害後も両井堰が改築の対象にならなかったのは何故か。 ④上井堰の改築についての県との交渉の経過及び改築の概要と効果について。 ⑤上井堰に関係する上流・下流の町内会、農区の関係者への説明会を実施すること。	町 長
			2. 別府、鏡地区を浸水から守れ。	(1) 須恵川、須川の溢水防止策へ積極的取組みを。	①須恵川対策。 i 須恵川の護岸、河床掘削などの対策については須恵、粕屋、志免3町の首長が一体となり、国、県への働きかけ、国会議員、県議の活用をはかる。 ②須川対策。 i 東環状沿線で営業する事業者に貯水タンク設置を。 ii 須川下流の整備を県に要請。 iii 北本町横枕から田んぼ沿いの道路にかさあげの築堤を。	町 長
			3. 角石池を芝生のグラウンドへ。	(1) 園児から高齢者まで裸足で遊べる緑のグラウンドを。 (角石池は灌漑用水池の役目を終える。) 平成23年11月3町内会より申請。	①園児、子どもたちの遊びの広場、高齢者の健康づくりの広場。 ②別府二、サンリアン、モントーレ3地区のみんなが活用できる広場。 ③園児たちの運動会、町内の夏祭り、みんなが集まって友達になれる広場。	町 長
3	助村千代子	30分	1. 妊婦健康診査について。	(1) 母子の健康状態を定期的に確認するための「妊婦検診」の公費助成が平成25年度から恒久的制度に変わります。これを機会に更に妊婦検診の充実を。	①妊婦検診14回の現状は。 ②里帰り出産の対応は。 ③新たに産後検診の助成を。	町 長
			2. いのちを守る為の健康施策。	(1) 胃がん、子宮頸がん予防大きく進んでいます。前がん段階での予防について。	①胃がん検診にピロリ菌ABCリスク検査の導入を。 ②子宮頸がん検診に細胞診・HPV併用検診の導入を。 ③がん検診の検診率と分析は。 ④子どもたちへのがん教育について。	町 長 教 育 長
			3. 志免町のホームページの見直し。	(1) 現在のわが町のホームページは、知りたい情報を的確に得ることができない、また発信力に欠ける。もっと、工夫をする必要があると考えるが。わが町に愛着が持てるホームページに。	①ホームページの作成、アップの手順は。 ②一目でわかる興味もてる画面で情報の提供を。 ③各種申請事項の公開を。 たとえば溝蓋、カーブミラー等が設置できるまでの工程、申請事項の公開など。	町 長
4	大西 勇	30分	1. 環境問題。	(1) 空き家対策について。	①現在空き家・危険廃屋は何件ぐらいあるのか。 ②危険廃屋条例の目的・定義について。 ③条例制定後の対策について。 ④具体的に問題解決への全体的な手順、体制について。	町 長

			2. 教育問題。	(1) 学校給食の向上のために。	<p>⑤「空き地の環境保全に関する条例」この目的と定義について。</p> <p>⑥同じ目的、定義の条例が2つの課に分かれている理由メリット。</p> <p>⑦将来同一課が担当することが出来ないのか。</p> <p>⑧「空き地条例」の6条について。</p> <p>⑨「危険廃屋条例」の7条について。</p> <p>⑩この問題解決には罰則規定や強制撤去規定を設けるべき。</p> <p>⑪町長は常々「町民の生命財産を守る」と公言されているがその根幹を揺るがす問題が「空き家問題」だと思うが。</p> <p>①学校給食会が設立された意義。</p> <p>②現在の学校給食会に何を求められているのか。</p> <p>③給食会を含め食材の仕入れ業者について。(食材の種類)</p> <p>④JAや町内業者からの仕入れの品数を増やす事が出来ないのか。</p> <p>⑤学校給食会は形骸化しているとの国会答弁もあり、給食会を解散した市もある。仕入れの努力により給食費を100円値下げした市や企業努力で原価に近い仕入れができた市もある。地産地消、地元業者からの仕入れについて。</p>	町長 教育長
5	古庄信一郎	30分	1. 水道事業の課題と将来展望について。	<p>(1) 水道事業の推移と現況について。</p> <p>(2) 水道事業の課題について。</p> <p>(3) 水道事業の将来展望について。</p>	<p>①「志免町上水道基本計画」の検証と問題点について。</p> <p>i 計画給水人口・計画給水量の推定と実績のギャップについて。</p> <p>ii 計画取水量と実績のギャップは。</p> <p>iii 給水人口増と給水量のギャップは。</p> <p>iv 施設関係への施策の検証。</p> <p>②25年度よりの「福岡地区水道企業団」大山ダム分、給水への対応について。</p> <p>①給水収入について。</p> <p>i 経常収益と加入金の推移と課題は。</p> <p>ii 業務営業用の収益の推移と課題は。</p> <p>iii 収益向上への対応策は。</p> <p>②技能の継承と職員育成の考え方について。</p> <p>③施設の老朽化と更新・再建築問題について。</p> <p>i 「23年度以降主な水道事業財政計画」で十分なのか。</p> <p>導水管・送水管・配水管…等は。</p> <p>ii 施設の老朽化、更新、再建築の考え方は。</p> <p>iii 計画的対応をすべきだが。</p> <p>④防災対策について。</p> <p>i 地震への対応と考え方、シミュレーションは。</p> <p>ii 耐震化への具体的取り組みは。</p> <p>施設・導水管・送水管・配水管…等。</p> <p>iii 災害時の「応急給水計画」の策定は。</p> <p>iv 遠隔自治体との救援提携を推進すべき。</p> <p>v 危機管理マニュアルの策定は。</p> <p>⑤23年度以降主な水道事業財政計画について。</p> <p>⑥福岡地区水道企業団と近隣自治体との関係と課題について。</p> <p>i 地震等緊急時の相互対応は。</p> <p>ii その他</p> <p>①財政面での長期計画は。</p> <p>②水道料金への考え方は。</p> <p>③事業の民間委託は。</p> <p>④水道事業の広域化は。</p> <p>⑤長期水道事業基本計画の策定をすべき。</p>	町長

6	二宮美津代	30分	1. 協働のまちづくり。	(1) 地域コミュニティの役割や機能。	①コミュニティビジョンの策定。 急速な高齢化、人口増加による都市化の進展など地域の連帯感の希薄化にどう対処されるのか。 町がめざす地域コミュニティの将来像を示してほしい。	町長
			2. 包括的地域ケアシステム。	(1) 地域で高齢者を支え合う体制づくり。	②地域コミュニティ支援体制の整備。 庁内連絡会議を設置し、人材育成（リーダー・コーディネーター）加入促進、活動の活性化、職員の地域活動参加など自治会活動を町全体で支援すべき。	町長
7	丸山真智子	30分	1. 防災力の向上について。	(1) 災害はいつ起こるかわからない。むやみに恐れるのではなく確実に防災対策を進めたい。	①地域防災計画の見直しについて。 ②大地震を想定した職員などの参集訓練や図上訓練、情報通信体制。 ③災害時要援護者支援体制 手上げ方式から同意方式へ。 ④学校教育、社会教育での防災教育、また訓練。防災キャンプの実施。 ⑤女性消防団員の検討。	町教育長
			2. 「子ども未来プラン」と「子ども権利条例」に基づいた子育て・子育て支援について。	(1) 子どもに関する条例や計画に基づく町づくりや事業になっているのか。	①居場所づくり。 i 雨の日に遊べる場所。 ii 体を思いっきり動かすことができる場所。 iii リリーフの認知度と利用について。 ②地域活動。 i 国際協力に関する活動。 ③意見表明や参加の促進。 i 公園整備（焼却場跡地・中の坪公園）での子どもの意見の反映。 ④地域の「イクジイ」への取組み。	町長
			3. 志免平成の森公園の整備と活用について。	(1) 竣工後（H5. 3）20年となり、利用度を高めるための整備と工夫について。	①子ども・子育て世代の意見も取り入れた整備を行い、再生できないか。	町長
8	堤久美子	30分	1. 行政経営について。	(1) 地域福祉の充実のために。  (2) 23年12月庁舎機能・整備に関して、検討委員会を設置しますとの事でした。進捗状況について。	①地域包括ケアシステムづくりにおける、志免町地域ケア会議の状況は。 ②介護保険広域連合による運営より、単町での取り組みがより住民のニーズに対応でき、介護費給付が削減できるのでは。 ③地域包括ケアシステムづくりにおける組織機構改革が必要では。 ④地域福祉計画が必要と思うが。  ①検討委員会は設置されたのか。 ②どのように検討されているのか。 ③社会保障と税の一体改革等によるマイナンバー制の導入も視野に置いて窓口一本化は検討されているのか。	町長
9	安河内信宏	30分	1. 大気汚染物質について。	(1) PM2.5についての認識及び健康被害、影響等について。  (2) 町民への健康被害防止、なんらかの対策を。	①PM2.5についての認識は。 ②健康被害への影響は。  ①対策、処置、緊急対策を打ち上げるべきではないか。	町長

10	末藤省三	30分	1. 予算の考え方について。	(1)政府予算における地方への影響について。	①政府13年度予算(15ヶ月予算)と(12年度補正予算)どうみるか。どのような影響が出てくるのか。 i 地方交付税の削減。 ii 生活保護費の削減、年金の減額、職員給与の(7.8%)削減など与える影響は。 iii デフレ不況の原因はどこにあると考えるか。(3本の矢) iv 2%の物価目標と金融緩和をどうみるか。	町長
			2. 教育について。	(1)いじめ及び体罰。	①いじめをどのように考えるか。 ②いじめ、体罰のない学校をどう作っていくのか。 ③第三者委員会の設置について。 ④学校における労働安全衛生法をどのように実行していくのか。 ⑤ゆとり教育について。	教育委員長 教育長 町長
			3. 環境について。	(1)大気汚染対策。	①微粒子物質(PM2.5)の町民に与える影響は、対策をどうするのか。 ②PM2.5について住民にどのように情報を開示して対策をどのようにするのか。	町長
			4. 雇用について。	(1)職員の雇用について。	①職員・嘱託職員・その他雇用における任用雇用について。(例外はあるのか)	町長